


札幌ドームの「社会と環境への取り組み」についての最新情報は
下記ホームページをご覧ください。

<http://www.sapporo-dome.co.jp>

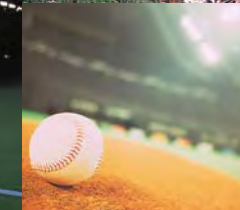
株式会社 **札幌ドーム**
〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL011-850-1000(代) FAX011-850-1011
発行:2010年6月 ※2010年6月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。

資源と環境の保護を考え、本紙には適切な森林管理の下で生産された木材を使用して作られた「森林認証紙」を使用しております。

 **SOYINK** インクは大豆油インクを使用しています。



札幌ドーム 社会・環境報告書 2010



はじめに

2001年6月、公の施設である札幌ドームは「スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化」に寄与することを目的として開業いたしました。

当社は、札幌市と道内外26企業・団体様のご出資により札幌ドームを管理運営するために設立された第3セクターであり、確実な施設設備の維持管理を担うとともに、様々な事業活動を通じて、施設の設置目的を具現化することが、私たちに課せられた大きな使命であると考えております。

2006年度からは、指定管理者制度が導入され、公の施設の指定管理者として、更なる市民サービスの充実とより一層の社会的使命と責任を果たすことが求められており、新たな事業展開や取り組みを進めてまいりました。

特に、環境への取り組みにつきましては、札幌ドームが環境に与える負荷を低減することを重要課題の一つと位置付け、2008年3月には「環境方針」「環境行動指針」を策定するとともに、「環境数値目標」を設定し、積極的な活動を推進しております。この取り組みにつきましては、2008年6月に初めて「札幌ドームECO MOTION ひとりひとりがエコプレーヤー」と題した冊子を発行し、2009年6月には「環境報告書」として、皆さまにご報告させていただきました。今回の発行にあたりましては、タイトルを「社会・環境報告書」に変更し、環境への取り組みだけでなく、私たちの事業活動全般を通じた社会的使命や社会との関わりに視点を置いた取り組みについてもまとめさせていただきました。

第Ⅰ部「すべてのお客さまのために」では、札幌ドームにとってのすべてのお客さまとの関わりを私たちと社会との関わりと捉え、主に、札幌ドームを舞台とするプロスポーツ選手・アーティストやイベント主催者さま、イベントにご来場いただくお客さま、そして、地域社会の皆さまに対する取り組みをご紹介します。第Ⅱ部「みらいの子供たちのために」では、私たちが取り組んでおります環境活動につきまして、主に2009年度の成果を中心に、環境管理重点テーマに沿った形で記載いたしております。なお、2009年度は、環境数値目標の達成に向けて着実に前進いたしましたほか、大規模集客施設における資源循環の促進が評価され、北海道グリーン・ビズ認定制度「創意あふれる取組」部門(もったいない心分野)に認定されました。これもひとえに、ご来場いただきましたお客さまをはじめ、イベント主催者さま、ボランティアスタッフの皆さま、お取引先さまなど、すべてのお客さまのご理解とご協力の賜物であると心より感謝いたします。この場をお借りしてお礼申し上げます。

本報告書が、私たちの社会と環境への取り組みをご理解いただく一助となり、更には今後の取り組みに向けた皆さまの忌憚のないご意見を賜る機会とすることができれば幸いに存じます。

2010年6月



私たちはエンターテインメントビジネスを通して、常に最高のホスピタリティを追求し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するステージを創造します

[経営理念]

Our Mission, Value, Vision

すべてはお客さまのために

- ・視野を広く、発想豊かに新たな価値を創造します
 - ・思いを一つに、ともに楽しみ、喜びを共有します
 - ・高い理想を掲げ、責任と誇りをもって行動します
- 私たち一人ひとりが札幌ドームです

[行動指針]

Guiding Principles

札幌ドーム 社会・環境報告書 2010 CONTENTS

はじめに	1
Ⅰ. すべてのお客さまのために	3
～皆さまに親しまれる施設を目指して	
夢と感動を実現する 最高の舞台であるために	4
より楽しくより快適に ご利用いただくために	5
市民道民・地域社会の 皆さまのために	7
Ⅱ. みらいの子供たちのために	10
～環境にやさしい施設を目指して	
[環境管理重点テーマ①] CO ₂ 排出量の削減 および省エネルギーに努めます	11
[環境管理重点テーマ②] 廃棄物の排出の削減に努めます	12
[環境管理重点テーマ③] 資源循環を促進するため リサイクルに努めます	13
[環境管理重点テーマ④] 環境問題の啓発啓蒙 および情報発信に努めます	15
環境活動の歩み	16
資料	17
札幌ドームの歩み・会社概要 ロケーション	

スポーツ&エンターテインメントを発信する 夢と感動のステージ、札幌ドーム。

札幌ドームは、2001年に北海道最大・日本最北の全天候型ドームとして誕生。ホヴァリングサッカーステージによってサッカーと野球いずれの開催も可能で、世界で唯一、「コンサドーレ札幌」と「北海道日本ハムファイターズ」というサッカーと野球の2つのプロチームの本拠地としても親しまれています。コンサートや展示会など多様なイベントも開催し、スポーツやエンターテインメントの発信拠点として多くの夢と感動を生んでいます。

I すべてのお客さまのために

～皆さまに親しまれる施設を目指して

イベントの主役となるプロスポーツ選手・アーティストの皆さま、ご来場される皆さま、観光に訪れる皆さま、札幌ドームのある街に暮らす市民の皆さま、そして夢と感動のステージと一緒に支えてくださる事業者さま、そのすべてが札幌ドームにとっての「お客さま」です。

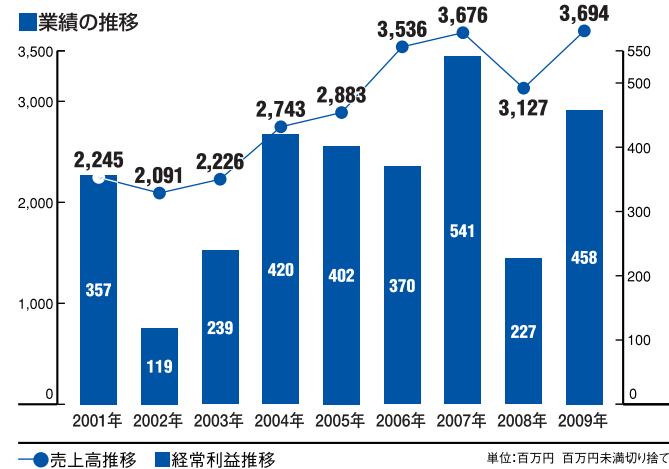
- 夢と感動を実現する最高の舞台であるために…………… P.4
- より楽しくより快適にご利用いただくために…………… P.5
- 市民道民・地域社会の皆さまのために…………… P.7



私たちの事業活動

- 貸館事業**
アリーナ等のイベント利用の貸出及びイベント運営サポートを行っています。
- 飲食・物販事業**
札幌ドーム内のレストランや売店など飲食・物販の管理運営を行っています。
- 駐車場・チケット事業**
札幌ドーム駐車場の管理運営やイベントチケットの販売管理を行っています。
- 広告事業**
札幌ドーム内の広告看板等の販売管理を行っています。

- 観光・市民利用事業**
ドーム展望台・見学ツアーの運営や草野球等の市民利用管理を行っています。
- 施設設備の維持管理**
施設設備の適切な維持管理を行うとともに、必要な施設改良等の工事を行っています。
- 環境への取り組み**
環境にやさしい施設を目指して、よりよい環境づくりに取り組んでいます。
- 市民還元・社会貢献**
招待事業や自主イベント開催等を通じて、市民還元・社会貢献に努めています。



夢と感動を実現する最高の舞台であるために

札幌ドームは、スポーツをはじめコンサートやコンベンションなどさまざまなイベントの開催を通じて、すべてのお客さまの夢と感動を実現するため、最高の舞台をご用意しています。

サッカーと野球、2つのプロスポーツのホームスタジアム

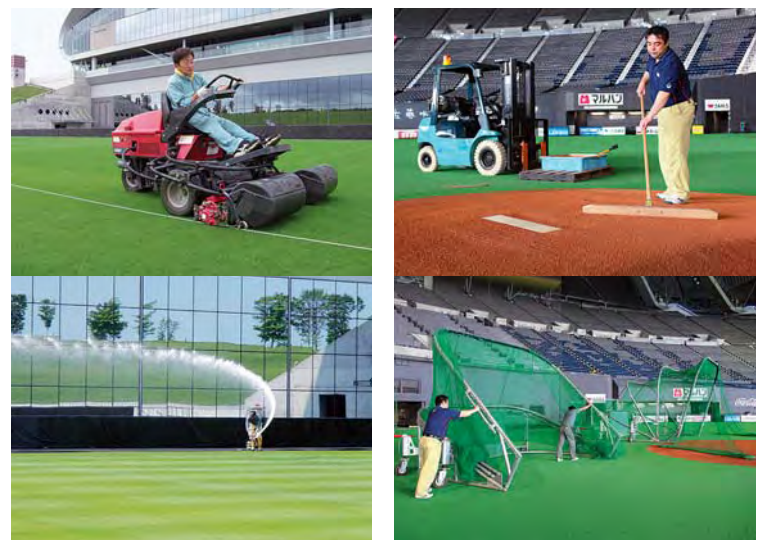
当社スタッフの綿密な管理で質の高いプレー環境を提供

札幌ドームは世界で唯一、サッカーと野球の2つのプロチームのホームスタジアムとなっています。サッカーと野球それぞれのグラウンドは、当社スタッフが直接管理しており、一流のプレーヤーたちにも満足していただける質の高い環境を提供しています。



コンサドーレ札幌
1996年、札幌に誕生。開業時から札幌ドームを本拠地とし、Jリーグの中でも特に熱いサポーターとともに熱い闘いを繰り広げています。

北海道日本ハムファイターズ
2004年に本拠地を北海道へ移転して以来、道民球団として定着。3度のリーグ優勝に輝くなど、多くのファンを魅了しています。



サッカーグラウンドの天然芝は、生育調査などをしながら綿密な管理で美しく良質な状態を保ち、1・2月を除き冬期間でも使用可能。

野球グラウンドは安全性とともに美観にも配慮して整備。特にマウンドは角度の測定などを厳密に行い、グラウンドキーパーが細かく調整。

多目的ドームの可能性を広げさまざまな感動の舞台を提供

多目的施設である札幌ドームは、プロサッカー・プロ野球だけではなく、より多くのお客さまに楽しんでいただけるよう、新規イベントの誘致にも取り組んでいます。

2009年新規イベント

子供たちが野球の基礎技能を競う全米で人気のイベント「MLB Pitch, Hit & Run Japan2009」(5月)や、高齢者のスポーツ文化の祭典「ねんりんピック北海道・札幌2009」(9月)の開会式・サッカー大会が開催されました。



安全確実な場面転換により多目的利用を実現

ホヴァリングサッカーステージの移動など、安全で確実な場面転換を行うため、日々の細かな保守点検を徹底し、札幌ドームの多目的利用を支えています。



イベント種別	2009年実績 開催日数
プロ野球	77日
Jリーグ	11日
その他スポーツ	23日
コンサート	4日
コンベンション	9日
自主イベント	5日
その他イベント	4日
合計	133日

その他、草野球利用やドームツアーなどにより、毎日多くのお客さまをお迎えしております。

より楽しくより快適にご利用いただくために

ご来場いただくすべてのお客さまに、札幌ドームをより楽しく、より快適にご利用いただくために、飲食サービスの充実や施設の整備、安全対策などさまざまな取り組みを行っています。

飲食サービスの充実でお客さまにバラエティに富んだメニューを提供

館内での食事やお飲み物をさらに楽しんでもらうために、イベント開催時の売店の新規オープンなどで飲食店舗を充実。新たなメニューを続々と導入しました。



コンコースからの入店を可能に

コンサドーレ札幌戦、北海道日本ハムファイターズ戦開催時などに、タウン店舗へ場内コンコースからも入店いただけます。

ビール半額デーの実施

日頃の感謝の気持ちを込めて、2009年はコンサドーレ札幌戦、北海道日本ハムファイターズ戦の3日間、ビールを半額でご提供しました。

2009年新規オープン店舗



コンコース売店・ワゴン売店を合わせ館内飲食店舗は38店に増えました。

チケットレス入場認証システムの導入

Webでイベントのチケットを予約・購入し、パソコンや携帯電話で受け取ったQRコードを認証機にかざすだけでスムーズに入場可能なシステムを導入しています。



第27回 IT賞において「ITフロンティア賞」を受賞

施設インフラとして導入した「チケットレス入場認証システムの構築」が、社団法人企業情報化協会が主催する「2009年度第27回IT賞」において「ITフロンティア賞」を受賞いたしました。

IT賞とは 社団法人企業情報化協会が、産業界ならびに行政機関などの業務における生産性向上と効果的なマネジメントシステムの整備を促進することを目的として1983年3月に設定された表彰制度で、2009年度は第27回となります(2000年度まではOA賞)。現在は「IT総合賞」、「ITマネジメント賞」、「ITフロンティア賞」などの各賞からなります。

主催：社団法人企業情報化協会

屋外テラスイベント「コンサパーク」「ファイターズまつり」を開催

札幌ドームの屋外テラスを開放し、コンサドーレ札幌戦では「コンサパーク」、北海道日本ハムファイターズ戦では「ファイターズまつり」としてファンの皆さまにお楽しみいただくイベントを両球団さまと協力して開催しました。



「札幌ドームMVP賞」をファン投票で決定

札幌ドームで最も活躍したコンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの選手を表彰。2009年からはファン投票で決定しています。



「マツダオールスターゲーム2009」サインボールを展望台に展示

「マツダオールスターゲーム2009」に出場した監督・選手・各チームマスコットのサインボールを展望台に展示しました。



お客さまからご意見を募る「コミュニケーションコーナー」を新設

お客さまに札幌ドームへのご意見を記入・投函いただく「コミュニケーションコーナー」を館内3カ所に新設。寄せられたご意見を施設整備やサービス向上などに役立てています。



「プレイヤーズビューシート」を設置

プロ野球開催時、選手たちと同じ目線で観戦できる「プレイヤーズビューシート」をファンの皆さまのために設置。迫力あるプレーを楽しんでいただくことができ、試合終了後には選手とハイタッチをかわして勝利を喜び合うチャンスもあります。



すべてのお客さまにやさしい施設を目指し整備を進めています

札幌ドームにご来場いただくすべてのお客さまにやさしい施設を目指し、階段の昇り降りの少ない座席「優し〜と」の設置や車いす席の整備などに積極的に取り組んでいます。2009年は貸出用車いすの整備(買替え)や、一部イベントでの身体障がい者の送迎車両の受け入れを可能にしました。



上:車いす席
右:優し〜と

案内サインの一部を改良

お客さまの利便性の向上のために、より分かりやすい案内サインを検討し、2009年はトイレへの誘導サインを改良しました。



小さなお子さま連れのお客さまのために

小さなお子様をお連れのお客さまにも安心して楽しんでいただけるように、託児室や授乳室、ベビーカー置き場などを用意しています。



委託事業者さまとともに
たくさんの委託事業者さまにご協力いただきながら、ともに責任と誇りをもって、より楽しく快適な札幌ドームを目指しています。



お客さまの安全を守るためにさまざまな対策に取り組んでいます

新型インフルエンザの感染拡大防止対策を実施

2009年は新型インフルエンザの感染拡大防止のため、館内に消毒液を設置するなどの対策を実施しました。



防災訓練などを行って非常時に備えています

防災機器・設備の点検や更新などのほか、札幌ドームの自衛消防団による訓練も行っています。

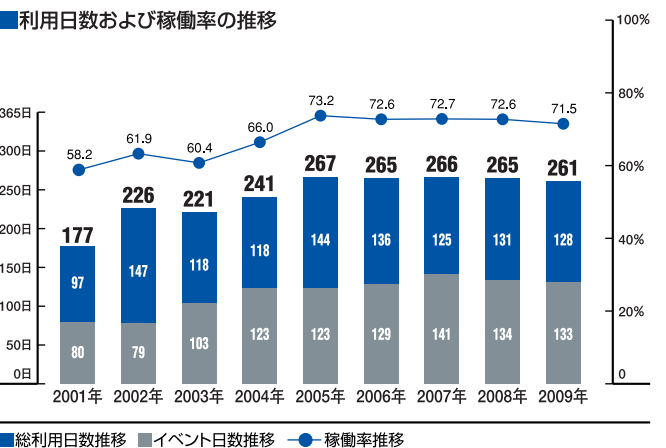
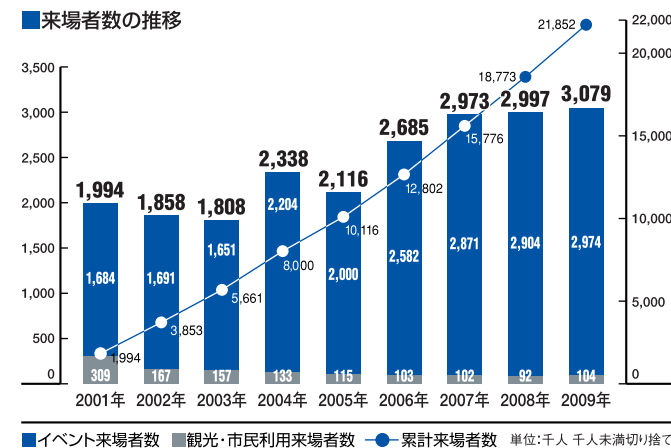


AED(自動体外式除細動器)の設置

AEDを敷地内7カ所に設置。社員とともに委託事業者さまにも参加いただき、使用方法などの講習会を開催しています。(駐車場には2010年4月より設置。)



年間来場者数が300万人を超え 開業以来の累計は2000万人を突破
2009年はプロ野球オールスターゲームや日本シリーズなども開催され、開業以来初めて年間来場者数が300万人を突破しました。



市民道民・地域社会の 皆さまのために

札幌ドームは、市民道民、地域社会の皆さまに愛され、親しまれる施設であるために、市民利用、観光事業などを展開するとともに、地域社会に貢献する事業にも力を入れています。

子どもたちのスポーツへの関心を高めるために 「札幌ドームみらいシート」プロジェクトを展開

「札幌ドームみらいシート」は、コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの札幌ドーム開催全試合に札幌市内の小学3年生を保護者とともに招待するプロジェクト。スポーツへの関心を高め、地域・学校・家族の絆が深まることを期待し、各試合25組50名を抽選で招待しています。



2009年シーズンのご招待実績

- 対象試合:
コンサドーレ札幌戦(11試合)
北海道日本ハムファイターズ戦(57試合)
- ご招待小学校:77校
- ご招待者数:1,370組 2,740名

2008年～2010年の3年間で、札幌市内211校約4,000名の「みらいシートキッズ」が誕生します。

子供たちからの感想

招待児童にアンケートを実施。495人の子供たちから「みらいシート」の感想をいただきました。

友だちといっしょに見れてとても楽しかったです。そしてほくもさっぽろドームでかつやくできるせん手になりたいです。

とてもはくりよくがあつたのしかつたです。おとうさんといっしょにいてよかつたです。シュートとかの音などがよかつたです。

はじめてドームにはいれてこふんしました。とても広くてびっくりしました。日本ハムのおうえんはお友だちがいっぱいて楽しかつたです。また行きたいです。

札幌ドームが企画・立案から手がける自主イベントを開催しています

ウィンターアスレチックフィールド



親子で遊んで、学べる体験型イベント。2009年は広いアリーナを活用して体を動かすアトラクションやミズノ親子野球クラブ教室、ドーム冒険ツアーなどを行いました。

夜景と音楽を楽しむ 展望台コンサートを開催

展望台の新たな魅力を発信しようと、夜景を楽しみながらクラシックギター中心のアンサンブルの演奏を聴くコンサートを初めて開催し、ご好評をいただきました。



ふわふわアドベンチャーin札幌ドーム



子供に人気のキャラクターなどさまざまな大型エア遊具を、毎年、大勢の親子づれに楽しんでいただいています。2009年は世界最大級のふわふわスライダーが初登場。

「夏休み宇宙展」 宇宙の謎をときあかさう

2009年の「世界天文年」に合わせ、子供たちに宇宙や星について楽しみながら学んでもらう「夏休み宇宙展」を開催しました。



市民の皆さまにご利用いただくための事業を積極的に展開しています

屋内アリーナ

プロが使用している屋内アリーナは、草野球などにも利用可能です。より多くの皆さまにご利用いただけるように、2009年から草野球メールマガジンの発行を始めました。



草野球メールマガジン

屋内アリーナを草野球に利用できる日をタイムリーにお届けするメールマガジンを毎月1日に発行しています。



トレーニングルーム

各種トレーニングに対応できるマシンをそろえ、トレーナーのアドバイスも受けられるトレーニングルーム。地域の皆さまの体づくりの場として浸透し、2009年の利用者は過去最高となりました。



「運動教室」を開催

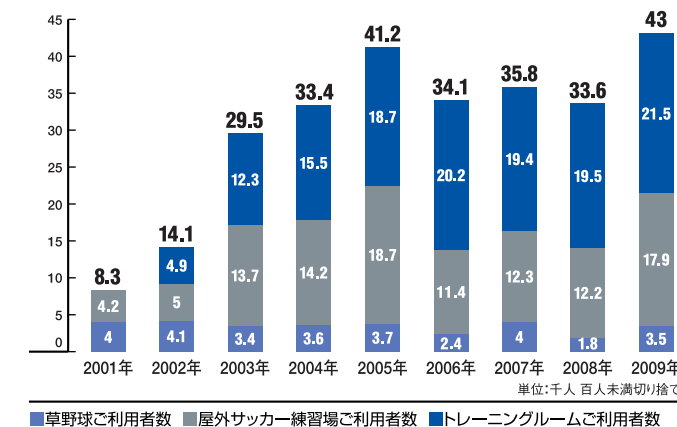
トレーナーによる「運動教室」を開催。2009年はピラティス教室など3回開催しました。

屋外サッカー練習場

天然芝と人工芝の2面の屋外サッカー練習場をご利用いただけます。2009年にはジュニア用ゴールを購入し、子供たちがサッカーに親しむ環境の充実を図りました。



市民利用ご利用者数の推移



キッズパーク

札幌ドーム3階スペースにあり、お子さまが元気に遊べる大型複合遊具を備えています。イベントが開催されない日は、無料でご利用いただくことができます。



ベビーコーナー

2歳以下のお子さまを対象としたベビーコーナーをキッズパークに併設。やわらかな素材を使ったおもちゃや絵本などをご用意しています。



観光に訪れるお客さまにお楽しみいただくための事業を行っています

ドームツアー

あこがれの選手たちが使うロッカールームやブルベンなど、普段は見ることができない札幌ドームの裏側ものぞけるツアー。専属のアテンダントは、札幌ドームで開催されたイベントの逸話なども盛り込み、50分のツアーをより楽しんでいただけるよう心がけています。2009年は開業以来減少していた来場者数が、前年比で初めてプラスとなりました。

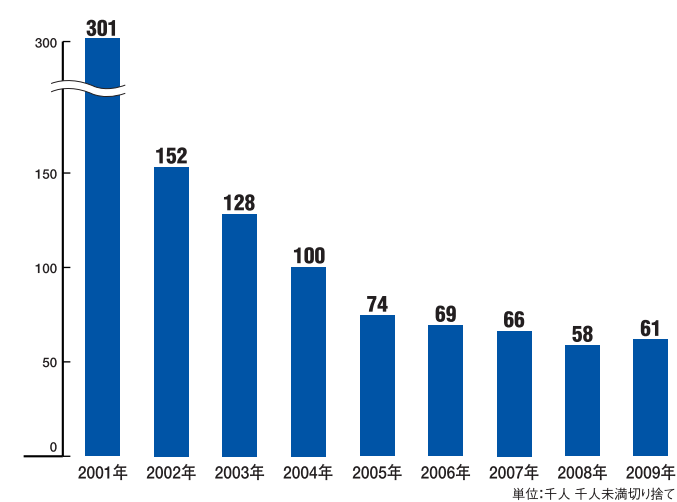


展望台

国内初のドーム展望台。53mの高さからアリーナの全景を見下ろせるほか、札幌市街からはるかに日本海まで広がる大パノラマを楽しめます。



観光(ドームツアー・展望台)来場者数の推移



地域社会とともに

札幌ドームは地域社会の一員として、市民の皆さまとともに楽しむイベントなどに協力を行っています。「北海道日本ハムファイターズ優勝パレード」や「さっぽろ雪まつり」などへの協賛のほか、札幌市の「ウオークさっぽろ」事業の一環で行われたウォーキングイベントでは会場として参加者を迎え入れました。



「ウオークさっぽろ」の一環で開催された「市民交流ウォーキング大会」では、札幌ドームを発着点とするコースを設定。札幌ドームのスタッフも同行し、敷地内の樹木やアートグロブ等の説明を行いました。



地域の中の札幌ドームとして町内会活動に参加

札幌ドーム周辺の町内会活動に積極的に参加。ドーム前広場の花壇に苗を提供し、町内会と協力して管理にあたり、交通安全街頭啓発、町内会主催イベントへのグッズ提供なども行っています。



かけがえのない財産「札幌ドーム」を未来に残すために

市民道民にとってかけがえのない財産である札幌ドームを守り、未来に残していくために、必要な施設改良や設備更新などの工事を適宜実施し、適切な維持管理に努めています。

2009年 工事実施内容

目的	主な工事項目
利用者サービス	来場者さま向け ■コンコースチケットブース窓口増設 ■コンコース照明追加 ■シャトルバスサイン及び照明設備整備 等
	主催者さま向け ■2階段床下スペース倉庫化 ■地下2階自販機スペース諸室化 ■西棟会議室床材改良 ■諸室サイン整備 ■TV用光回線増設 等
安全対策等	■エントランス広場恒久柵設置 ■バス停口階段転倒防止対策 等

憩いの場として親しまれる環境づくり

札幌ドームは、8,000本の木々や芝生、色とりどりの花などを敷地内に整備。周辺には散策路を設け、地域の皆さまに憩いの場として親しんでいただける環境づくりに力を入れています。



自然と調和する環境づくりに取り組み、緑あふれる景観の維持・管理作業を行っています。



ハーブマットの植栽

樹木の周辺の雑草予防、防虫などに効果的なハーブを植栽。



タウンにプランターを設置

商業ゾーン「タウン」にプランターを置いてお客さまを歓迎。



散策路の修繕

安心して散策いただくために経年劣化した枕木を修繕。

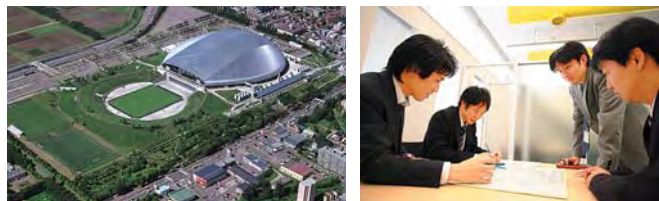


バス停口転倒防止工事

安全対策として、バス停口階段をゴムチップ舗装にしました。

周辺環境と生態系に配慮し貯水池を管理

トンボやチョウ、鳥たちが訪れる豊かな生態系を守りつつ、集中豪雨による増水を一時的に受け止める貯水池の機能維持のために定期的な泥さらいを行うほか、外来帰化植物の駆除を行っています。



目的	主な工事項目
設備更新 維持保全等	■地上波放送デジタル化対応 ■地下2階床材更新 ■場面転換用車両バッテリー更新 ■中央監視装置UPS更新 ■清掃用自走式床洗浄機更新 等
その他	■2階コンコースワゴン給水改良 ■第2駐車場U字溝蓋改良 ■芝管理倉庫地流し改良 ■駐車場料金所ブース扉改良 等

Ⅱ みらいの子供たちのために

～環境にやさしい施設を目指して

札幌ドームは「環境方針」「環境行動指針」を策定し、お客さまのご協力をいただきながら、みらいの子供たちのために「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。

〔環境方針〕

私たちは、みらいの子供たちに美しい地球を残し、札幌ドームを環境にやさしい施設として維持し続けることを使命として、訪れるすべてのお客さまとともに、よりよい環境づくりに向け取り組めます。

〔環境行動指針〕

1. 私たちは、事業活動全般が環境側面に関わる環境関連法規、規制、協定等を順守します。
2. 私たちは、事業活動全般に関わる環境側面として、以下のことを環境管理重点テーマに取り組めます。
 - ① CO₂排出量の削減および省エネルギーに努めます …… P.11
 - ② 廃棄物の排出の削減に努めます …… P.12
 - ③ 資源循環を促進するためリサイクルに努めます …… P.13
 - ④ 環境問題の啓発啓蒙および情報発信に努めます …… P.15
3. 私たちは、環境方針達成のため、札幌ドームで働く全従業員に周知徹底を図るとともにすべてのお客さまに理解と協力を求めます。

〔環境目標〕

- 札幌ドームの環境数値目標は「10・20・30」です。
- CO₂排出量を2006年度より10%削減します。
 - 一般廃棄物の排出量を2006年度より20%削減します。
 - リサイクル率を30%以上にします。
- 上記すべての数値目標を2012年度までに達成します。

札幌ドーム ECO MOTION ～ひとりひとりがエコプレイヤー～

札幌ドーム環境コンセプト



ひとりひとりがエコプレイヤー
SAPPORO DOME

札幌ドーム 環境シンボルマーク

札幌市生活環境の確保に関する条例
札幌ドームは、「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づく環境保全行動計画の策定対象事業者として、二酸化炭素の排出の抑制その他の環境への負荷低減に取り組む環境マネジメントシステム(EMS)を運用しています。

CO₂排出量の削減 および省エネルギーに努めます

二酸化炭素(CO₂)排出量の削減と省エネルギーを推進するために、環境にやさしい技術や工夫を数多く導入しています。

[環境目標] CO₂排出量を2006年度より**10%削減**します。

省エネ型の設備を積極的に導入

省エネルギー型の給湯器「エコキュート」をはじめとする省エネ設備の導入・制御改良などを2007年より積極的に進め、2009年は低騒音・省エネ型の除雪機なども導入し、省エネルギーを推進しています。



省エネを考慮して 照明モードを切り替え

イベント、グラウンド整備、ドームツアー、清掃など、それぞれの利用状況に適した照明モードを選択して省エネルギーに努めています。



プロ野球開催時の照明モードを見直し
2009年5月より、プロ野球終了後のグラウンド整備時、アリーナ照明モードの見直しを実施。これにより、プロ野球開催時の電力消費量を約5%削減することができました。

照明のLED化

館内コンコースや物販・飲食売店などの照明の一部を、蛍光灯などに比べて消費電力が少なく、寿命が長いなどの特徴を持つLEDに切り替えました。



ごみを圧縮して減容化

回収した紙カップ、ブリックパック、紙トレイ・弁当外箱、ペットボトルは、圧縮して減容化。輸送効率を高め、二酸化炭素の削減に努めています。



ごみ圧縮機
2008年3月に導入。



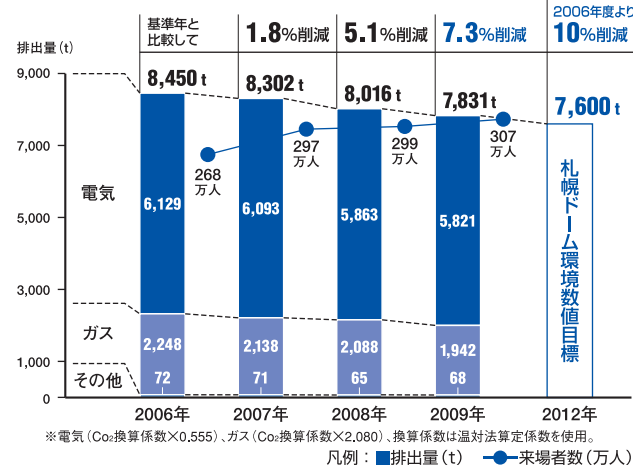
圧縮したごみは約10分の1の容積に。(紙カップの場合)

イルミネーションにグリーン電力を採用

2007年から2009年の冬季間、札幌ドームを彩ったイルミネーションの電力として、風力発電による自然エネルギーを利用したグリーン電力を採用しています。



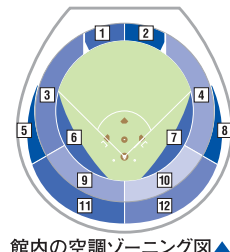
CO₂排出量の推移



気象条件にも恵まれましたが、2007年以降に導入した省エネ設備の運用効率をさらに向上させた結果、ガス使用量は前年比マイナス7%と大幅にダウン。電気使用量も、照明モードの見直しや緻密な制御を行い、前年比マイナス0.7%となり、目標数値に向けて順調に推移しています。

スタンド席を局所空調

アリーナすべての冷暖房では多くのエネルギーが必要なため、スタンド席の足元から冷気・温風を吹き出し、座席周辺に的を絞った局所空調を行っています。さらに、スタンド全体を12に区分した空調ゾーンにより観客数に応じた冷暖房で省エネルギーを図っています。



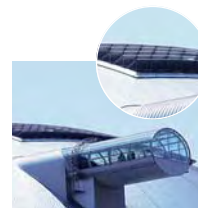
自然採光を積極的に利用

壁面の多くがガラス面で、天井にも丸型の天窗(トップライト)を設けています。非イベント時は自然の光を積極的に取り入れることで、照明の点灯数・時間を最小限に抑えています。



自然換気でエネルギーを抑制

天井の開閉式パネルと、オープンアリーナ・屋内アリーナを仕切る開閉式扉の開口部の操作でアリーナ内の自然換気ができます。これにより、冷房用のエネルギー消費が抑えられています。



廃棄物の排出の削減に 努めます

ごみの分別回収などお客さまにも大きな理解と協力をいただきながら、廃棄物の排出を削減する取り組みを積極的に進めています。

[環境目標] 一般廃棄物の排出量を2006年度より**20%削減**します。

野球グラウンドの土の再利用を実施

2009年より野球グラウンドのマウンドで使用した土を再利用。1年間に使用するアンツーカー4t・粘土1tの中から再利用可能な「エコ土」3tを確保し、廃棄物量を削減しました。



芝ごみの分別で埋め立て廃棄物量を削減



天然芝サッカーグラウンド(2面)の芝の根切り作業で発生する芝・根と砂が混じったごみは、スタッフが手作業で分別。芝や根だけを焼却ごみとし、砂はサッカーグラウンドのメンテナンスの際に再利用することで、廃棄物の量を大幅に削減しています。(2007年秋より実施)

根切り作業の際の芝ごみは、2006年は75.4トンに上っていましたが、芝・根と砂を分離することで2009年には19トンと約4分の1に減量できました。

ごみの分別回収を推進

2007年よりリサイクルポストを設置し、お客さまにイベント時のごみの分別をお願いしています。分別回収にご協力いただくことで焼却するごみの量を減らすことができ、2010年3月からはリサイクルをさらに推進するために分別方法を一部変更しました。

館内各所にリサイクルポストを設置してごみを分別回収。多くのお客さまの協力でリサイクルに取り組む、廃棄物の排出の削減は確実に進んでいます。

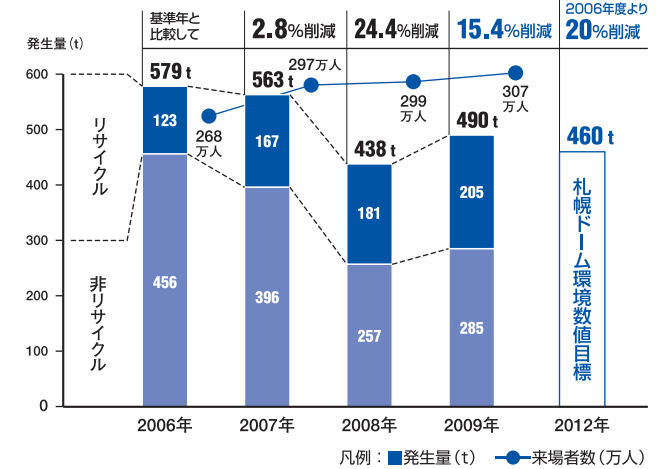


札幌ドームのイベント開催時には、 約4トンのごみが排出されています

札幌ドームの観客席が満員になるようなイベント開催時は、4万人以上のお客さまをお迎えします。この時に排出されるごみは、飲料用紙カップや弁当の容器などを中心に約4トンとなります。



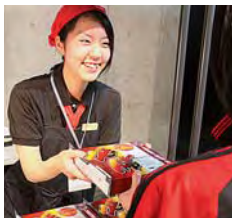
一般廃棄物の発生量の推移



プロ野球オールスターゲームや日本シリーズなど4万人規模のイベントが多数開催されたことに伴い、前年に比べ廃棄物の総量は増えましたが、芝ごみ分別の継続や野球グラウンドの土の再利用を新規に行うなど、廃棄物削減に努めました。

売店のレジ袋削減を進めています

コンコース売店・ワゴン売店では2007年2月より原則としてレジ袋をお渡しせず、必要なお客さまにのみお渡すことでレジ袋削減を進めています。



来場されるお客さまの理解が進み、レジ袋削減の取り組みも浸透してきています。



資源循環を促進するため リサイクルに努めます

お客さまとイベントの主催者・委託事業者さまの協力のもとに、紙カップや紙トレイ・弁当外箱などのリサイクルに取り組んでいます。

[環境目標] リサイクル率を**30%以上**にします。

イベント開催時に発生するごみの、リサイクルを進めています

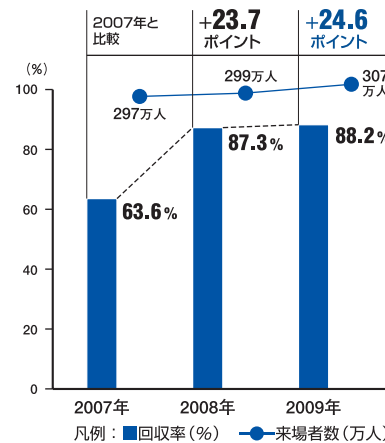
紙カップのリサイクル

ソフトドリンクやビールなどの飲料用紙カップは、2007年7月から本格的に分別回収をスタート。リサイクルポストを利用して分別をお願いし、多くのお客さまの協力によって高い回収率を達成しています。集めた紙カップは製紙工場に運び、トイレットペーパーの原料としてリサイクルしており、札幌ドーム館内および事務所ではこのトイレットペーパーが使われています。

2009年の紙カップの回収個数は約189万個。トイレットペーパー約3万1500個分に相当します。
※紙カップ約60個が、トイレットペーパー1個に生まれかわります。



紙カップ回収率の推移



紙トレイ・弁当外箱のリサイクル

飲み物などを運ぶ紙トレイと弁当の外箱も、2007年9月からお客さまの協力を得てリサイクルポストで分別回収しています。これらを再生紙やダンボール紙の原料としてリサイクルすることで、焼却ごみの量を減らしています。



2010年3月より「紙製品・雑がみ」に変更

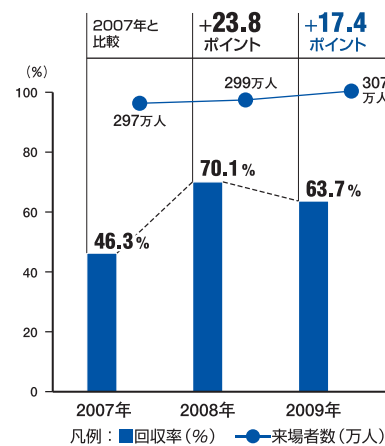


紙トレイ・弁当外箱に加え、これまで「一般ごみ」としていた新聞・チラシなども「紙製品・雑がみ」として新たに分別し、リサイクル率のさらなる向上を図っています。

新しく分別回収を開始するもの

- 新聞 ちらし
- 紙袋 紙ナフキン
- 紙バック

弁当外箱回収率の推移



ダンボールのリサイクル

札幌ドーム内の飲食店舗などから出る不要なダンボールは、各委託事業者さまに協力をいただき、再びダンボール紙としてリサイクルするために、まとめて回収を行っています。



ビン・缶・ペットボトルのリサイクル

札幌ドームでは、来場されるお客さまにビン・缶・ペットボトルなどの飲み物容器の持ち込みを遠慮いただいています。持ち込み飲料は入場時に紙カップに移し替え、回収したビン・缶・ペットボトルはリサイクルを行っています。



飲食売店の野菜くずなどは堆肥や飼料に活用しています

飲食売店などで調理に使った野菜くずなども回収し、リサイクルを進めています。生ごみ処理機で堆肥化し、札幌ドームの植栽などに利用しているほか、専門業者に委託して家畜の飼料としても活用しています。



札幌ドーム「リサイクルポスト」

※以下の4種類に、ごみを分別回収しています

2010年3月より分別方法を一部変更し、これまで「一般ごみ」としていた新聞・チラシ、紙バックなどを「紙製品・雑がみ」に分類し、再生紙の原料に利用しています。



事業系ごみも分別回収

イベント主催者さま、委託事業者さまの協力を得て、事業系ごみの分別回収にも取り組んでいます。

- 古紙**
 - 新聞・OA紙・チラシ
 - ダンボール
 - 雑誌
 - シュレッダーくず
 - 紙カップ
 - 雑がみ
 - 紙トレイ・弁当外箱 等
- 飲料容器**
 - びん
 - 缶
 - ペットボトル
 - 一斗缶
 - 酒類びん
- その他**
 - 資源化ごみ
 - 生ごみ
 - 剪定枝

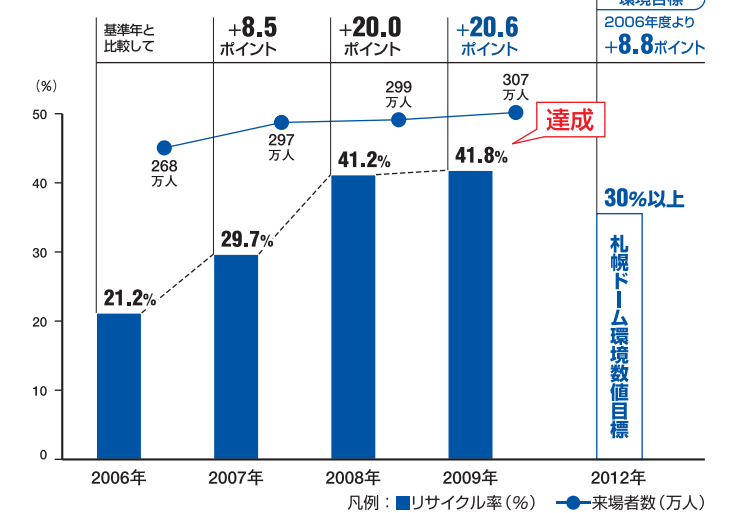
剪定枝・酒類びんも2009年より 分別回収し、リサイクル

2009年より剪定枝と酒類びんの分別回収に取り組んでいます。剪定枝は植栽チップなどとして、酒類びんはカレット(ガラスびんの原料)などにリサイクルされます。

剪定枝・酒類びんを分別回収することにより、1年間のリサイクル率を0.5%アップする効果が生まれました。

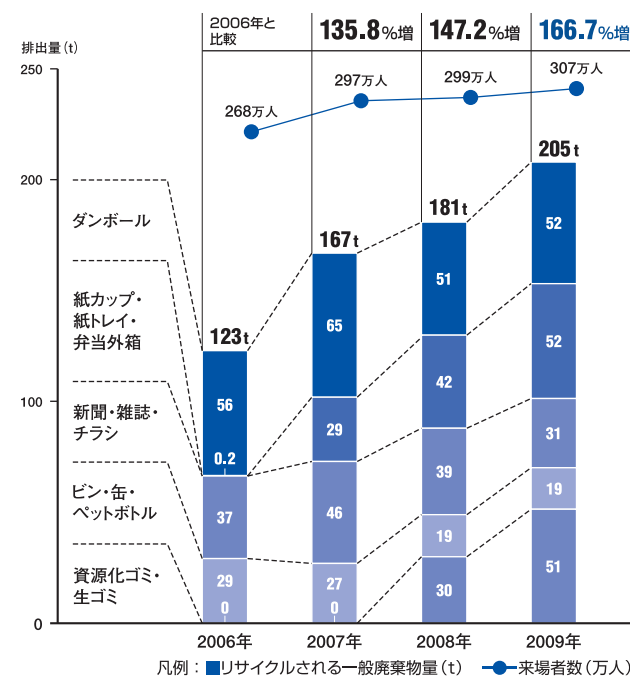


リサイクル率の推移



札幌ドームでの分別回収が、ご来場のお客さまに浸透したことにより、リサイクル率がさらに向上。また、事業系ごみについても、剪定枝や酒類びんを新たに分別項目に加えるなどし、主催者さま、委託事業者さまの協力もいただきながら、リサイクルを推進しました。

リサイクルされる一般廃棄物量の推移



「バイオマスプラスチック」製カップの導入

2008年3月より、各種ドリンク販売用に使用されるクリアカップに、とうもろこしのデンプンを原料にした「バイオマスプラスチック」製カップを導入しています。



リサイクルの流れ

	分別品目	リサイクル品目
古紙	新聞・OA紙・チラシ	再生紙
	ダンボール	ダンボール紙
	雑誌	再生紙
	紙カップ	シュレッダーくず
飲料容器	雑がみ	再生紙
	びん	再利用・カレット※等
	缶	鋼材
	ペットボトル	繊維・ペットボトル
	一斗缶	鋼材
その他	酒類びん	カレット※等
	資源化ごみ	固化燃料
	生ごみ	堆肥・飼料
	剪定枝	植栽チップ

※ガラスびんの原料

環境負荷の低減に役立つグリーン購入や エコマーク商品、印刷用紙の変更などを促進

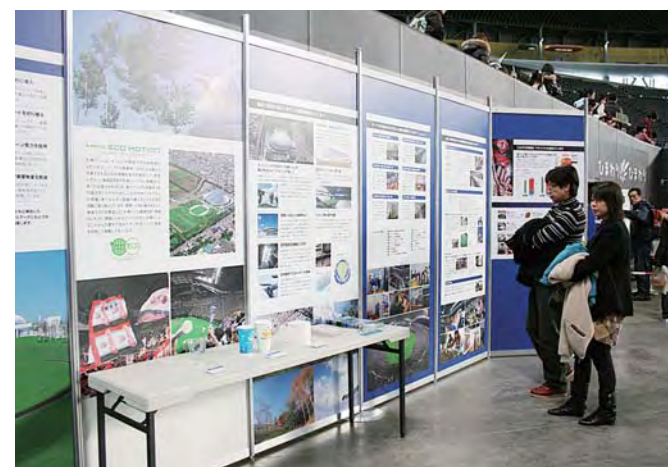
事務用品や敷地内で使用するイベント用の備品などは、環境負荷の低減に役立つ商品を購入しているほか、各種印刷物の印刷用紙は道産間伐材を使用した紙などに変更しています。

環境問題の啓発啓蒙 および情報発信に努めます

札幌ドームの環境についての取り組みを多くの方々に知っていただき、さらに大きく輪を広げていくために、さまざまな活動を展開しています。

自主イベントで 環境コーナーを設置

札幌ドームの自主イベント「ふわふわアドベンチャーin札幌ドーム」や「ウインターアスレチックフィールド」などの開催時に、環境コーナーを設置。来場されるお客さまに札幌ドームの環境への取り組みを紹介しています。



敷地内にアオダモを植樹

プロ野球などで選手たちが使用している木製バットの原材料「アオダモ」の育成のため、札幌ドーム敷地内での苗木の植樹に協力しています。



札幌環境報告書展に出展

札幌市内の事業者の環境報告書を紹介する「環境報告書展」に出展し、札幌ドームが取り組んでいる環境活動について市民の皆さまに広く公開しています。



環境に関する情報を広く発信

環境への取り組みに関する情報については、札幌ドームのホームページやパンフレットのほか、新聞、広告などを通じて広く発信しています。



「社内エコ行動」に取り組んでいます

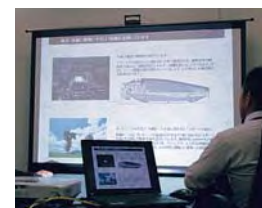
離席時のパソコンディスプレイ電源オフなどの節電徹底や、マイカップ・マイ箸利用などの「社内エコ行動」を推進。月別に強化項目を決め、社員ひとりひとりが積極的に取り組んでいます。

- エコバッグ利用
- グリーン購入の推進
- クールビズ・ウォームビズの推進
- 節電の徹底
- ごみ分別の徹底
- 公共交通機関利用の推進
- マイカップ・マイ箸利用の推進
- コピー用紙・印刷用紙の削減
- リサイクル事務用品の積極利用



会議資料の電子化

2009年より社内会議に使用する資料の電子化に取り組み、パソコンやプロジェクターなどを活用したペーパーレス会議で紙の消費量の削減を図っています。



北海道グリーン・Biz認定制度 「創意あふれる取組」部門 (もったいない心分野)に認定

「大規模な公共施設におけるリサイクルプログラムである」「来場者に対して協力を呼び掛け、環境行動を啓発している」などの点が認められ、2009年度「創意あふれる取組」部門(もったいない心分野)に認定されました。



北海道グリーン・Biz認定制度とは
環境に配慮した取り組みを自主的に行っている事業所を登録・認定する制度で、「優良な取組」部門、「創意あふれる取組」部門、「先進的な取組」部門の3部門からなり、2009年8月には、事業所等が自主的に実施している環境配慮の様々な取り組みの中から、創意にあふれ、他の事業所等の模範となる優れた取り組みを評価・認定する部門として「創意あふれる取組」部門が創設されました。
主催：北海道環境生活部環境局環境政策課

札幌市や国の環境施策と連携

札幌市や国の施策などと連携し、環境に対する取り組みを進めています。



環境活動の歩み

- 2001. 6 自然力を生かした環境配慮型施設として開業
(半地下構造・自然採光・自然換気、コージェネレーションシステム導入等)
- 2004. 3 蒸気系統バルブ類断熱工事
- 3 ファンズ・カフェ サインをLED化
- 2007. 2 売店等でのレジ袋削減の推進開始
- 3 イベント開催時において「紙カップ専用回収ボックス」を設置し、紙カップの分別回収開始
- 6 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 7 「紙カップ専用回収ボックス」を改善し、「リサイクルポスト」として設置
- 8 タウン店舗サインをLED化
- 9 芝ごみの分別を開始
- 9 イベント開催時における紙トレイ・弁当外箱の分別回収テスト実施
- 9 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 11 冬季イルミネーションにグリーン電力の採用開始(以降、毎年実施)
- 2008. 1 ボイラー室給排気ファンインバーター化工事
- 3 給湯設備改修工事(「エコキュート」導入)
- 3 リサイクルポストをリニューアルし、紙トレイ・弁当外箱も含め、より分別しやすいデザインに変更
- 3 「バイオマスプラスチック」製カップの導入
- 3 ごみ圧縮機の導入
- 3 環境方針・環境行動指針・環境数値目標の策定
- 4 札幌ドーム ウェブサイト「社会と環境への取り組み」ページを公開
- 6 空調冷温水2次ポンプのインバーター化工事
- 6 「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」にブース出展
- 7 北海道日本ハムファイターズ戦において「札幌ドームプレゼンツナイター〜ひとりひとりがエコプレイヤー」開催
- 9 ドームツアー・展望台スタッフユニフォームを「マテリアルリサイクルマーク」認定素材に切り替え
- 9 第10回グリーン購入大賞(中小企業部門)において「大賞」を受賞
- 2009. 4 野球グラウンドの土の再利用を開始
- 5 プロ野球開催時(グラウンド整備時)の照明モードの見直し
- 6 月別強化項目を定めた「社内エコ行動」の推進開始
- 8 酒類びんの分別回収を開始
- 11 剪定枝の分別回収を開始
- 11 北海道グリーン・Biz認定制度「創意あふれる取組」部門(もったいない心分野)に認定
- 2010. 3 コンコース及び南北連絡通路(ストリート)の一部照明をLED化
- 3 低騒音・省エネ型除雪ドーザーの導入
- 3 イベント開催時における雑み分別の開始



札幌・サンサンプロジェクト

市民、事業者、札幌市の3者が協働して、札幌市内に合わせて約1,000キロワット(1メガワット)の太陽光発電を導入する事業。2010年秋には、札幌ドーム敷地内のフェンスに縦4m×横約300mにわたって太陽光パネルが設置される予定です。

2011年6月、札幌ドームは開業10周年を迎えます

開業10周年、そして次の10年に向けて、私たちは、より一層の社会的使命と責任を果たし、地域社会とともに成長する企業を目指して、更なる取り組みを推進してまいります。



資料

札幌ドームの歩み

- 1993. 1 2002FIFAワールドカップ™大会国内開催候補地に決定
- 1996. 5 2002FIFAワールドカップ™大会日韓同時開催決定
- 1998. 6 着工
- 10 株式会社札幌ドーム設立
- 1999.10 札幌ドーム条例制定
- 2001. 5 竣工
- 6 開業(6/2)
- 9 来場者100万人突破
- 2002. 3 日本ハムファイターズ フランチャイズ移転計画
「北海道新聞」紙面で公に
- 6 2002FIFAワールドカップ™大会開催
- 7 日本ハムファイターズ、フランチャイズ移転正式決定
- 10 トレーニングルーム オープン
- 12 「J1ベストピッチ賞」受賞
- 2003.10 札幌ドーム敷地内に、フランチャイズ事務所棟完成
- 2004. 3 北海道日本ハムファイターズ移転元年シーズン開幕
- 11 「札幌ドームMVP賞」創設
- 2005. 3 新人工芝導入
- 2006. 3 来場者1,000万人突破、メモリアルコーナー設置
- 4 指定管理者制度導入
- 5 こどものひろば“キッズパーク”オープン
- 6 開業5周年「ありがとう札幌ドーム5周年キャンペーン」
- 10 北海道日本ハムファイターズ 日本シリーズ優勝
- 2007. 2 FIS ノルディックスキー世界選手権 札幌大会開催
- 10 来場者1,500万人突破
- 2008. 4 “札幌ドームみらいシート”開始
- 10 2008FIA世界ラリー選手権 第14戦
パイオニア・カロツツェリア ラリージャパン開催
- 2009. 2 プレイヤーズビューシート完成
- 8 来場者2,000万人突破

会社概要

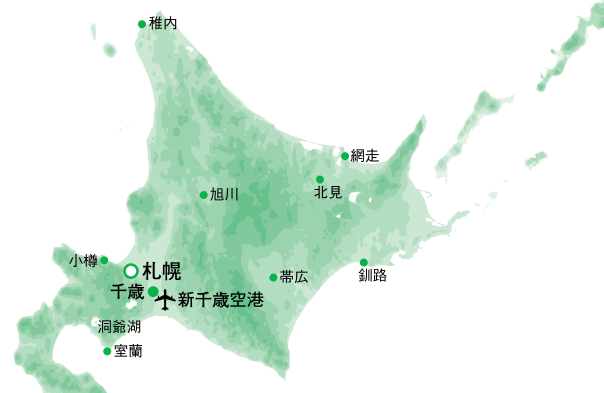
商号 株式会社札幌ドーム
 所在地 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
 代表者 代表取締役社長 長沼 修
 設立 1998年10月1日
 資本金 10億円
 売上高 36億9,470万円(2010年3月期)
 従業員 67名(2010年6月現在)
 事業内容 札幌ドームの管理運営業務全般
 [地方自治法及び札幌ドーム条例の規定に基づく]
 [札幌ドーム指定管理者]
 1.貸館事業(アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出及びイベント運営サポート)
 2.商業事業(ドーム内の飲食物販事業の管理運営)
 3.観光事業(ドーム展望台及びドーム見学ツアーの運営)
 4.市民利用事業(草野球、サッカー練習場及びトレーニング室の利用管理)
 5.広告事業(ドーム内広告看板の販売管理)
 6.チケット事業(各種イベントのチケット販売管理)

株主 札幌市(55%)、札幌商工会議所、北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、(株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、サッポロビール(株)、(株)プリンスホテル、(株)竹中工務店、大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)電通、(株)電通北海道、(株)大広、東日本電信電話(株)、(株)近畿日本ツーリスト北海道、(株)NTT東日本一北海道、エヌ・ティ・ティ北海道テレマート(株)、北海道キリンビバレッジ(株)、北海道ペプシコーラ販売(株)、(株)JTB北海道、(株)JTB商事、北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)



ロケーション

大自然と都市が共存する場所、北海道札幌市
 190万人以上もの人々が暮らす四季の移ろい豊かな北の大都市、札幌市。空の玄関口・新千歳空港から1時間足らずでアクセスできるという利便性があり、食、温泉、自然に富んでいます。札幌ドームは、そんな札幌の南東、丘陵地に位置しています。



札幌ドーム展望台からの眺望



敷地案内図

